

平成30年度第2回 滝川市環境市民委員会の開催結果について

開催日時	平成31年1月23日（水） 午前10時30分～午後12時00分
開催場所	滝川市役所3階 301会議室
出席状況	<p>【委員】</p> <p>出席：石川委員、大崎委員、貝之瀬委員、四十九院委員、広瀬委員、水戸委員 矢口委員</p> <p>【事務局】</p> <p>市民生活部くらし支援課 小畑課長、澤田課長補佐、山本主任主事</p>
議事内容	<p>1 開会</p> <p>2 評価シート（案）の最終確認について</p> <p>第1回委員会で意見をもらい、修正を行った評価シート（案）の最終確認</p> <p>【目標1】</p> <p>委員）：今回エコたきのステッカーをタクシーや中央バスに掲出したことは、良い宣伝になったと思う。タクシー会社や中央バスからステッカーを見た市民からの反応等フィードバックはあったか。</p> <p>事務局）：タクシー会社は無料で協力してくれている。来年も掲出するなら協力すると言ってくれている。中央バスは、札幌市で広告掲出を取りまとめているため、無料は難しい。</p> <p>今年は、中学生が描いた絵とエコたき君をセットにしたステッカーを作成し掲出している。協力してくれた中学校からは、市の政策をPRするようなポスターコンテストは今までなかったので、来年も協力すると言っている。</p> <p>委員）：自分の子どもや知人の子のポスターがバスに掲出されていると、普段バスに乗らない人も乗ってみようと思う良い機会になる。1人ひとりの1回、2回の積み重ねが大きな成果に繋がるので、良い取り組みだと思う。</p> <p>委員）：プレス空知や北海道新聞への掲載料を支払っているのか。</p> <p>事務局）：二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用し実施している事業については、各社に広告料を支払っている。</p> <p>なお、プレス空知も北海道新聞も契約期間外の活動を無料で掲載してくれている。</p> <p>【目標2】</p> <p>委員）：省エネモニターは毎年ほぼ同じメンバーが行っており、環境保全につながる取り組みはほぼ終えている。</p> <p>モニターの年齢もほぼ同世代となっているため、データも偏っているように見える。</p> <p>モニターの新規開拓を検討してみてもどうか。</p> <p>委員）：新しい人が入ることで、前年度との比較が難しくなる。</p> <p>委員）：省エネモニターの裾野を広げるという意味では、新しいモニターを入れることは大切だと思うが、新しいモニターの開拓はなかなか難しいと思う。</p>

委員) : 例えば、省エネモニターになって良かったことなどを聞き取り調査し、広報誌等に掲載してはどうか

事務局) : 新規モニターの開拓は、事務局の方でも可能な限りの努力をしていきたいと思う。

### 【目標3】

委員) : アの2) にある良好な水辺環境の保全について、川は上流から下流へと繋がっているので、滝川市だけで行うのではなく、流域市町村と一緒に取り組むなどの工夫が必要。

事務局) : 一つの市が関連する取り組みとしては「緑とエコのサポートネット」が空知川上流の南富良野で植樹を行っている。

### 【目標4】

委員) : 課題にある若者以外の環境学習リーダーの養成については大賛成。頑張ってもらいたい。

## 3 滝川市の環境施策に関する評価報告及び提言書(案)について

提言書についての再確認、評価する点、次年度要望する点について事務局より説明を行った。

委員) : ごみ分別一覧表を広報と一緒に全世帯に配布したとあるが、何か反響はあったか。

事務局) : 過去にも全世帯にも配布したが、紛失したり、色あせてしまっている方が大半だと思う。再度配布したことにより、分別の再確認につながったと思う。

委員) : もみ殻の燃焼実験を行ったとあるが、今後どのような展開を考えているのか。

事務局) : 商業振興課農商工連携室で取り組んでいる。平成28年度、29年度は実験を行い、平成30年度はそのデータを元に実際にもみ殻を燃焼した熱で農業が可能かどうかを検討している。

委員) : 「課題」に「家庭」との連携とあるが、環境や国際という文字がつくと難しいという先入観から、家族で参加するというのは難しいが、どのように対応するのか。

事務局) : 農業体験はとても人気がある。昨年実施した食育と地産地消の環境イベントには、参加者が殺到した。くらし支援課だけで行うのではなく、図書館、保健センター、農家、滝川高校クッキング部など、それぞれが持つ強みを活かして協力できれば、家庭との連携も行える自信がある。

委員) : いろいろな所管と連携して環境イベントを実施するのは、とても良い取組だと思う。

委員) : 例えば、札幌市では着物や古着をリメイクしたファッションショーなどを

行っている。

**事務局)**：滝川市でも消費者協会は消費者まつりでリメイクファッションショーを行っている。

今年の消費者まつりには、地球温暖化防止活動普及大使による環境ブースの出展や高校生がボランティアとしてファッションショーに参加し、若い世代との交流を行った。

**委員)**：補助金が何年かで終わるのは、最初にその補助金を使って自分たちで継続できる仕組みを作ることが目的。高校も短大も、自分たちで継続して事業を実施できるように工夫を始めている。そういう事例を増やしていくことが大切。

補助金が無くなっても、自分たちが主体者になっていることが望ましい。全国的に先進的な内容は、環境リーダーを養成して、環境学習リーダーが子どもたちに働きかけるということ。他の自治体とは違うところを前面的に出した文面にしてはどうか。

**事務局)**：意見を参考にして、文面を検討する。

#### 5 平成30年度環境市民大会の開催結果について

#### 6 平成30年度カレンダーリサイクルの開催結果について

#### 7 その他

- ・EPO 北海道からのお知らせ
- ・平成30年度政策評価オリンピックにおける表彰について

#### 8 閉会